

# 子供のつた

(学年は投稿時)

2021(令和3)年  
3月22日  
月曜日



南日本新聞 R3.3.22付  
R3.3.20付

生まれたときから一緒にいた  
あの子のことを いつまでだって  
忘れる日はこない  
生まれたときは同じだったのに  
いつのまにか 早くとしをとって

ずーっと

## 失った愛犬を思う気持

その日はきた  
もっとおしゃべりしたかったなあ  
ずーっと。忘れないでね

ずーっと。私のとなりにおいてね  
ずーっと。ずーっと。ずーっと

(鹿児島市西伊敷小6年)

伊地知 愛奈

©南日本新聞社 2021年 (日刊)

2021(令和3)年  
3月20日  
土曜日



## 地域とともに歩む学校

異例の年の最上級生たちに感謝

まちづくり

協議会役員

瀧川 憲洋(67)

先日、西伊敷小の6年生3人がわが家を訪ねて来ました。そして「今ま

で見守り活動をしていた

いただきありがとうございます

した」と言い、クラス全

員で作ったガネの天ぶら

を渡されました。別のク

ラスの6年生からは「お

礼の気持ちを込めて作っ

た」という手紙を添えた

餅をもらいました。心温

まるサプライズで、涙が

出るほどうれいでした。

本年度は社会環境がこ

れまでと大きく異なる1

年でした。しかし6年生

は行き先が県内が変わっ

た修学旅行も古里を知る

きっかけになったと前向

きにとらえ、規模が縮小

## 感謝の気持ちは

いつでも、どこでも、いつまでも

された運動会も最上級生として大いに盛り上げました。

清掃ボランティア活動

や語先後礼のあいさつ運

動も率先し、環境美化の

取り組みでは全国表彰も

受けました。下級生の良

きお手本だっただけでな

く、住民にとっても誇り

であり、宝です。

西伊敷小6年生の皆さん、多くの感動ありがとうございました。

ご卒業おめでとうございます。

おめでとございます。

(鹿児島市)